

病気の真の原因

イントロダクション

第一章

第八章

第九章

www.jimakudaio.com/workshop-wr



自己紹介

- ・ソフトウェアエンジニア、30年以上の経験
- ・2013年頃、「陰謀論」に目覚める(御巣鷹山事件)
- ・字幕付け開始までは、ヒアリング不可(技術文書のみ)
- ・2016年頃、字幕付けを始める。自作字幕ソフト作成
- ・現在、おそらく数百時間分の動画に字幕付け済み
- ・協力者あらわる、リーシヤさん、その他匿名の方々
- ・メディアの情報は確実に偽物。しかし、本物の情報は?
- ・動画等へのリンクは、www.jimakudaio.com です。

日本と子どもの未来を考える会(ニコミ会)相談役(2020/11より)として



私は医者でも科学者でもありません

- ・皆さん一人一人が調べ、考えてください
- ・私はきっかけを与えるに過ぎません

この本の要約

- ・ 現代医療はほとんどすべてウソ
- ・ 病気の恐怖を使って搾取とコントロールを行う
- ・ 洗脳教育を受けてきた医者は、何も知らず、調べず、ただ従うだけ
- ・ メディアやIT企業も同調し、一般大衆洗脳を強化する
- ・ コントロールしているのは、国連やWHO等の世界レベル。その裏にいる製薬会社や投資家

数百年にわたるウソピラミッドの上に新コロウソが乗っている

- 新コロウソに気づけば、これまでのウソすべてに気づく可能性
- しかし、普通の人（特に年寄り）は世界観の変更を拒否する

新コロ詐欺

数百年にわたる詐欺
(人々の身に染み付いている)

新コロは人類最大の危機であると同時に最大のチャンスでもある
本来の自分を取り戻す最大のチャンスでもある

著者紹介

- ・ドーン・レスター～会計士
- ・デビッド・パーカー～電気工学エンジニア



Apowersoft
Video Converter



視聴者の皆さんには、我々のことを知らないでしょから、

本を書いたきっかけ



jimakudaio.com
字幕大王

ピーター・デュースバーグの言



jimakudaio.com
字幕大王

このケースの場合、わからないんです。

キャリー・マリス：研究者の情報源は新聞・テレビ、我々はバカ

イントロダクション



ヴォルテールの言葉

- ・「医師とは、その知識があまり無い薬を、それ以上にわからない病気を治すために、何一つわからない人間というものに処方する者である」

「現代医療」こそが本物のヘルスケアを提供する唯一のシステムである、という主張

- ・世界中の政府が、オフィシャルに採用する
- ・しかし、このような主張は事実に基づいていない
- ・病気の情報は医学界によって流布されるが、それらは間違いである
- ・その基盤となる考え方や理論に根本的な欠陥がある
- ・現代医療は根本原因を理解しておらず、治療で逆に悪化する

現代医療に問題の解決はできない

- ・「現代医療」は問題の本質の把握に失敗し、すべての根本的原因を正しく識別することも失敗している
- ・その手段は、問題の解決として完全に不適切なものである

アーサー・ショウペンハウエルの言葉

- ・「すべての真実は三つの段階を経る。最初は馬鹿にされ、次に激しく反対され、最後には自明と受け入れられる」

第一章: 病気への処方: 健康のために死ぬ



現代医療の幻想

- ・ 医療の実施には固い基盤があり、これは、科学的に確立された証拠に完全に裏打ちされている
- ・ 薬と調合の使用は、同様に科学を基盤としており、その「医療」が対象とするものに適切であり効果的である

現代医療は病気を治せない

- ・ 薬の目的は症状を止めること
- ・ 現代医療では、多くの症状を「不治の病」と位置づける。不治なので、治すのではなく、「管理」する
- ・ すべての薬が「副作用」を起こすことは良く知られている。新たな症状の出現により、より治癒が阻害される
- ・ WHOの方針は、「薬の使用」に重点が置かれている

「毒が薬になる」という考え方の起源

- 16世紀のパラケルススによるもの
- 「病気は生体内の化学システムの不均衡である」とし、梅毒の治療に水銀を用いた
- 「適切な用量で投与される有害物質は医薬品として適している」という理論
- この誤った考えが、現代まで続いている。これを正せる医療システムがなかった。

- ・ パラケルスス: すべては毒であり、毒無しのものは存在しない。
毒かどうかを決めるのは、量がすべてである
- ・ ハーバード・シェルトン: 毒とは、質的なものであり、単なる量的なものではない。

「薬は確かな科学的証拠に基づく」は間違い

- ・ 医薬品の使用が「安全である」「効果的である」という科学的証拠は提供されていない
- ・ 効果がないどころか、害の可能性があることを明確に示す証拠が出てきている

製薬会社での実験

- ・ 以前は病変組織に薬を使用し、効果の確証を得ていた
- ・ 最近は、疾患分子(DNA、RNA、タンパク質分子等)に適用
- ・ 生体で同じ効果が得られる確証はない
- ・ 疾患分子を生体から取り出した場合、同じ状態である確証はない
- ・ 次に動物実験・臨床試験だが、容量を決めるためのもので、効果の有無は見ていない

人体の反応

- ・ 薬の唯一の機能は、人体を毒することであり、唯一の反応は薬を排出しようとする
- ・ 身体の病気に侵されていない部分にまで影響を与える

FDA(アメリカ食品医薬品局)

- FDAが承認する薬の臨床試験は、新薬販売によって利益を得る製薬企業が資金提供している
- 製薬会社からの結果を厳しくチェックする人員も資金も無いため、難なく承認される

薬の危険性・医原病

- 抗生物質とステロイド
製造には発酵が使われ、その溶媒には毒性がある
- ほとんどの医薬品
化学合成で、精製溶媒として毒性の高い物質が使われる
- 副作用により新たな症状。多くの場合、元の症状より深刻
これに対して別の処方薬が出される

精神薬

- ・ 特定の行動が異常とみなされ、ほとんどの場合処方薬が出される
- ・ 原因は脳内の生化学的不均衡とされるが、その根拠は全く無い
- ・ 抗うつ剤の副作用の多くは、元のうつ病の症状であり、「抗うつ剤が緩和すべき症状そのもの」が副作用となって出る

降圧薬

- ・ 高血圧は避けるべきものとされている。が、リチャード・D・ムーアの見解としては
 - 血圧上昇は、何かのバランスが崩れていることを示す
 - 高血圧でなくても、脳卒中は発生する
 - 高血圧が心疾患の原因ではなく、細胞や組織全体の不健康が原因である
- ・ 高血圧の本当の問題は人体の電気的アンバランス。アーシング等で電気的バランスを整えることが必要。

コレステロール

- ・「高コレステロールは危険」は間違っている
- ・本当の問題はコレステロールの酸化。細胞、脳内、血管に悪影響を与える
- ・にも関わらず、製薬会社はコレステロール自体を悪者にしている
- ・スタチン系薬剤は、肝臓酵素の働きを阻害し、コレステロールを生成できないようにするが、酵素を阻害すると副作用
- ・スタチンを服用すると、多発性神経障害を発症する可能性
- ・酸化の原因は、フッ化物、農薬、環境汚染など

第八章 世界的問題～より広い視点から



国連の役割

- そもそも、国際的な平和と安全の維持が目的だった
- 現在は、平和と安全、気候変動、持続可能な開発(Sustainable Development)、人権、武装解除、テロ、人道と健康の緊急事態、男女平等、統治、食糧生産
- これらが「世界的」問題であるとして、その解決を「世界的に強制」する言い訳にしている

国連戦略の重要な側面は「開発」

- ・「開発」が、文明と生活の質の向上と同義であるとされてしまっている
- ・「グローバリゼーション」を背景に、その恩恵を開発途上国に与え、参加させる

国連2030アジェンダ

- 17の計画(SDGs)と169の目標
- SDGsは開発途上国だけではなく、すべての国連加盟国対象
- SDG=Sustainable Development Goals
=持続可能な「開発」ゴール

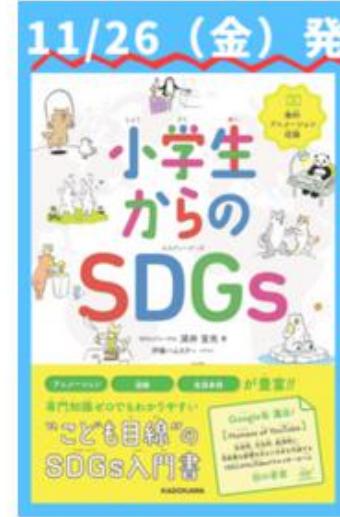
<https://sdgs-support.or.jp/journal/goal03/>

SDGs | 目標3 すべての人に健康と福祉を | 満たされるべき基本的人権

いいね！ 42

ツイート

0



amazon.co.jp



小学生からの
SDGs

¥ 1,650 Prime

a 今すぐ購入



アニメでわかる!SDGs

3 すべての人に
健康と福祉を



- 中心的目標：すべての年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、幸福を促進する。

- 1.目標3全ての人に健康と福祉をとは？
- 2.なぜ目標3がSDGsに必要なのか？
- 3.深刻な医療の不平等
 - 3-1.基礎的な医療保険サービスとは？
- 4.大人になることができない子どもたち
 - 4-1.5歳未満児死亡率と順位（出生1000人あたり）
- 5.予防接種やワクチンで救われる命
- 6.無くならないHIV/AIDSの脅威
 - 6-1.HIVとAIDSの違いは？
 - 6-2.HIVは日本に関係ない？
- 7.差別されることのない「健康」
- 8.取り組み事例
 - 8-1.命のパスポート「母子手帳」

欠陥のある国連の考え方1

- ・「すべての人の健康」の背後の考えとしては、健康と開発が連結していること
- ・開発推進には国民の健康が必要と、経済への有用性の観点から国民を見ている
- ・WHOウェブ「健康な国民は長生きで、より生産性が高く、より金がかかるない」
- ・不健康な人々の医療費は、国にとって財政的負担
- ・「人々の存在意義は、国の発展と経済成長」というおかしな仮定

欠陥のある国連の考え方2

- ・ 健康は、薬とワクチンによる現代医療のみにより提供される

SDG3のターゲット8

- ・「すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な**必須医薬品とワクチン**へのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する」
- ・ UHCには莫大なコストがかかる。つまり、先進国による援助が薬とワクチンに使われる。
- ・ 米国のように、いくら金を使っても人々は不健康。

すべての人に薬を

- ・「薬だけが病気を治す手段である」には根拠がない
- ・ 薬は、身体の特定機能を阻害する化学合成物質である
- ・ 現代医療では、その副作用に名前をつけ、さらに薬で治療しようとする
- ・ 厳格な安全性審査はウソ、深刻な副作用で販売停止になったもの多数
- ・ 他の薬との相互作用は調べられていない
- ・ 安全性試験は、ほぼ半年間だけ

すべての人にワクチンを

- WHOの主張～「予防接種は毎年200万～300万人の死亡を防ぐ。適用範囲を改善すれば、さらに150万人の死亡を回避できる」
- 全く立証できない。根拠が無い

SDGsで取り組む病気

- SDGs目標3.3～2030 年までに、エイズ、結核、マラリア及び
顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、
水系感染症及びその他の感染症に対処する。

HIV/エイズ

- HIVがエイズの原因であるとする理論には根本的な欠陥(第4章)。これを認めず、2030年までに根絶するとする。
- アフリカが主な感染地域というが、1980年代に用いられた検査とは異なる基準。
- 「発熱、下痢、無力症」等の一般的症状をエイズとする。
- マラリアもエイズとする。

- WHOは、抗レトロウイルス療法(ART)によりエイズ治療が大きな進歩を遂げたというが、ARTは非常に有毒であり、ARTで命を救うことはできない(第4章)。
- にもかかわらず、WHOはARTの使用拡大で、SDGsの目標を達成するとする。
- HIVはエイズの原因ではなく、機能していない検査、診断であり、有毒薬物での治療で早期死亡が起こっている

第九章 特権と支配のアジェンダ

アジェンダ＝予定表・計画

一言で言えば(私の解釈)

- ・ 様々な国際組織(国連、WHOなど)は、管理と統制を目的としている
- ・ 人々を欺き、搾取するためのもの
- ・ これを「人類全体のため」というフリをして行っている
- ・ これらの権限は、実質的に国家より強い
- ・ 政治家は、そこから降りてくる方針に従うだけ
- ・ 共産主義、民主主義など無関係

私の以前の講演～コロナの本当の目的

この話を聞くための心構え

- 世界には様々な国があり、基本的にはそれぞれ独立しており、独裁もあれば、民主主義もある
- 民主主義国は、主権者である国民がその国の方針を決めている。
- という話は、おとぎ話、幻想です。一般大衆を騙すための見せかけです。いったんこのような仮定をして、この話を聞いてください。

コロナ騒ぎは計画されてきたもの

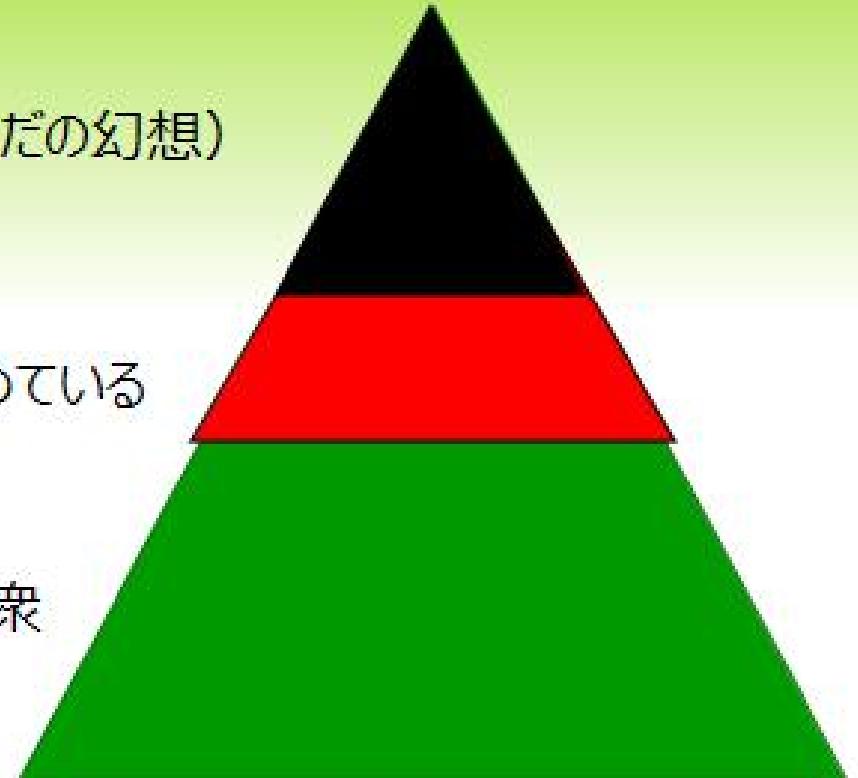
- 一言で言えば「世界の支配と全人類の奴隸化」
- 人類にふりかかった恐ろしい感染症への対抗手段を理由にし、奴隸支配を、全人類に「自ら喜んで」させる
- この計画は、すべて公開されているが、新聞・テレビでは一切報道されない。
 - 「世界経済フォーラム」は一切報道されない
 - 「Event201」は一切報道されない
 - 「ムーンショット計画」は一切報道されない

民主主義、政治家、国家、法律は見せかけ

選挙で選ばれた人達
が決めている、と思わされている（ただの幻想）

実際には、
官僚・医者・学者・企業が決めている
～テクノクラシー

メディアによって洗脳された一般大衆



グローバリゼーションの目的

- ・「グローバリゼーション」の目的の一つは、すべての分野で国連機関の取り決めに完全に従わせること
- ・各国が「グローバルシステム」の政策に準拠した措置を実施しなければならない

グローバリゼーションで恩恵を受けるのは

- ・ 石油会社
- ・ 金融期間(土地・商品の投機家含む)
- ・ グローバル農業ビジネス
- ・ 軍需産業

支配的な既得権益

- ・ ウォール街
- ・ 軍産複合体
- ・ ビッグオイル(石油)
- ・ バイオテクノロジーコングロマリット
- ・ ビッグファーマ(製薬)
- ・ グローバル麻薬経済
- ・ メディアコングロマリット
- ・ 情報通信技術(IT)

医療システムのコントロール



WHO

- ICD(国際疾病分類)による国際基準を設け、定期的に更新している
- 別章で現代医療の病気の予防と治療に使う「薬」と「ワクチン」は不適切であることを示し、病気が減るどころか増えていることを示した。
- なぜ間違いを認めないのか？

既得権益による大きなシステム

- ・ 教育、製薬企業、医療機関のシステムが存続する限り、既得権を得ている。
- ・ ピーター・デュースバーグの言葉
 - － あらゆる分野での合意に疑問を投げる科学者は、もうほとんどいない
- ・ 大多数がこの問題に関心がなく、グローバリゼーションの促進で、既得権益の恩恵はさらに大きくなる。

ロックフェラーの存在

- 石油産業を支配したロックフェラーは、石油由来の化学物質からの医薬品に既得権益。それを利用した医療システムの開発。
- 有害物質を薬にするわけ：「有害な側面もあるが、治療効果もある」という信念

フレクスナー・レポート(1910年)

- ・石油業界から派生した現代の医療業界の目的は、医療利権の継続
- ・医療を利益につなげると考えた勢力が資金提供に乗り出し、既得権益を握る
- ・フレクスナー・レポート:「石油に含まれる成分から製造した薬で治療する医療を教える学校のみを医療大学として認定すべし」



Apowersoft
Video Converter



Andrew Carnegie was regarded as the second-richest man in history after John D. Rockefeller. While Carnegie played a leading role in the American steel industry and education, Rockefeller was interested in oil industry and medical research.

jimakudalo.com

字幕大王

ロックフェラーは石油産業と医療研究に興味がありました。

「ヒポクラテスの偽善」より

このシステムのもとで勉強した医学生

- ・ 薬を「必須医薬品」とみなし、発展途上国に援助したいと思わせる
- ・ 例えば、イエール大学と国境なき医師団と協力し、エイズ治療薬の大規模な拡大へ。何百万が有害薬品による害を受けている
- ・ 医師になった後も継続教育で、製薬会社がスポンサーのコースへの参加義務付け
- ・ 医学部の高い学費と長い年月は、正しい理論とする強い信念を育て、欠陥を認めるのが難しくなる

医学研究は営利目的

- ・ 売れる医薬品の特許取得に研究費をつぎこむ
- ・ 既得権益の合意に沿わない研究には資金が出ない
- ・ 「科学的信念」に沿うようにデータを作成する
最も人気なのは、「細菌が病気を引き起こす」理論
- ・ 医学雑誌は、製薬会社のマーケティングの場になっている
- ・ 新薬やワクチンの有効性研究は、信ぴょう性が低い

ウソを広める



広め方

- ・ 大多数が「権威」を信用することを、既得権益は悪用してきた
- ・ 石油化学製品は、有益であるとだけ宣伝され、有害性は知らされていない
- ・ 消費者は「安全でなければ市場に出ない」という固定観念があり、疑いを持たない

恐れを利用する

- ・「感染症が危険な病原体によって起こされる。ワクチンがこの恐怖を解決する」というパターン
- ・都合の悪い情報が流れるのを防ぐため、徹底的に攻撃する



メディア

- ・ 偏りの無い信頼できる情報源であり、事実であるとみなされている
- ・ 既得権益がメディアを所有している

読売の場合のウソのつき方(5年間の読者経験から)

- 都合の良し悪しによって、報道の有無が決まる。
都合の良いことは多いに報道
都合の悪いことは一切無視
- 政治家や学者などのウソつきの言い分を、検証もせずにそのまま掲載。
- 事実を報道するが、「～とみられる」と、ただの感想で読者を誘導。

インターネット

- ・主流の巨大ITはすべて情報を操作している
 - Googleは検索結果を操作
 - YouTubeは動画を恣意的に削除
 - Facebookはファクトチェックという名の検閲

最近の私のYouTubeチャンネル

☆ [著作権の申し立て] 申し立ての撤回: "Reminder that two years ago, Tulsi Gabbard ..."	● YouTube	⌚ 2021/09/15 5:56
☆ YouTube 広告でチャンネルをレベルアップ	● YouTube	⌚ 2021/09/23 2:15
☆ 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました	● YouTube	⌚ 2021/10/06 15:14
☆ 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました	● YouTube	⌚ 2021/10/11 23:44
☆ 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました	● YouTube	⌚ 2021/10/12 5:18
☆ 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました	● YouTube	⌚ 2021/10/12 13:46
☆ 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました	● YouTube	⌚ 2021/10/12 20:56
☆ 字幕大王 様、10月のクリエイター マンスリー ニュースレターをお届けします。	● YouTube Creators	⌚ 2021/10/13 7:45
☆ 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました	● YouTube	⌚ 2021/10/14 21:40
☆ 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました	● YouTube	⌚ 2021/11/03 16:09
☆ [YouTube] "Just Chinese fisherman couple eating" のコンテンツに対して著作...	● YouTube	⌚ 2021/11/07 9:07
☆ Important update from YouTube API Services: Making the dislike count private	● YouTube API Services	⌚ 2021/11/11 2:29
☆ 字幕大王 様、11月のクリエイター マンスリー ニュースレターで、成功のヒントをチェックしてください。	● YouTube Creators	⌚ 2021/11/13 8:44
☆ 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました	● YouTube	⌚ 2021/11/19 18:29

差出人 YouTube <no-reply@youtube.com> ☆

返信 全員に返信 転送 アーカイブ 迷惑マークを付ける 削除 その他

2021/11/19

件名 📢 YouTube はお客様の動画を削除しました

宛先 vi

☆

YouTube チームによる審査の結果、
お客様のコンテンツは誤った医療情報に関するポリシーに違反していると判断されました。
今回は、お客様が YouTube
のポリシーに違反していると認識しておられなかった可能性があるため、
お客様のチャンネルに対して違反警告は発行されていません。ただし、次のコンテンツは
YouTube から削除されました。

ファクトチェックという名の検閲

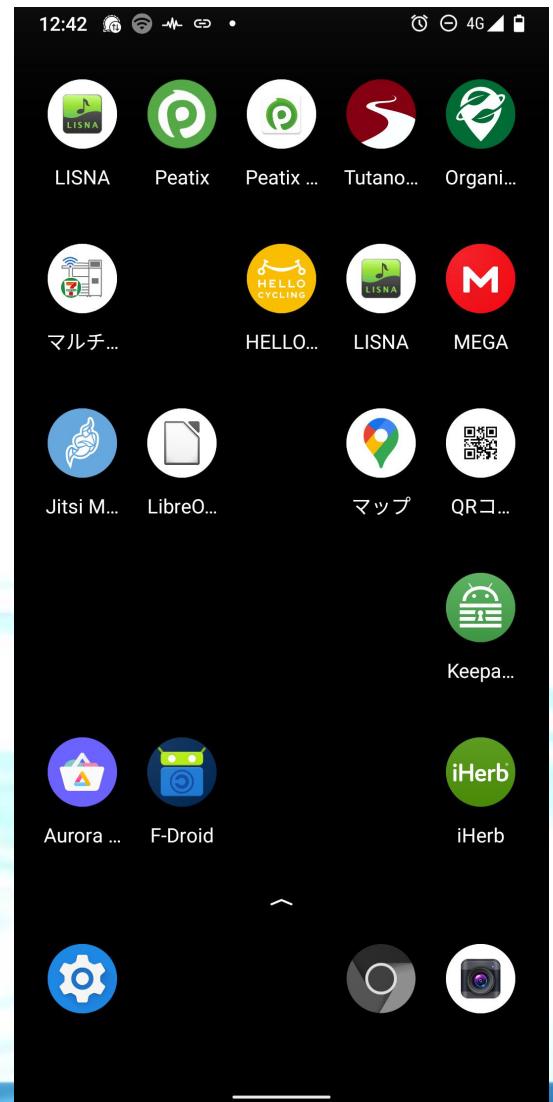
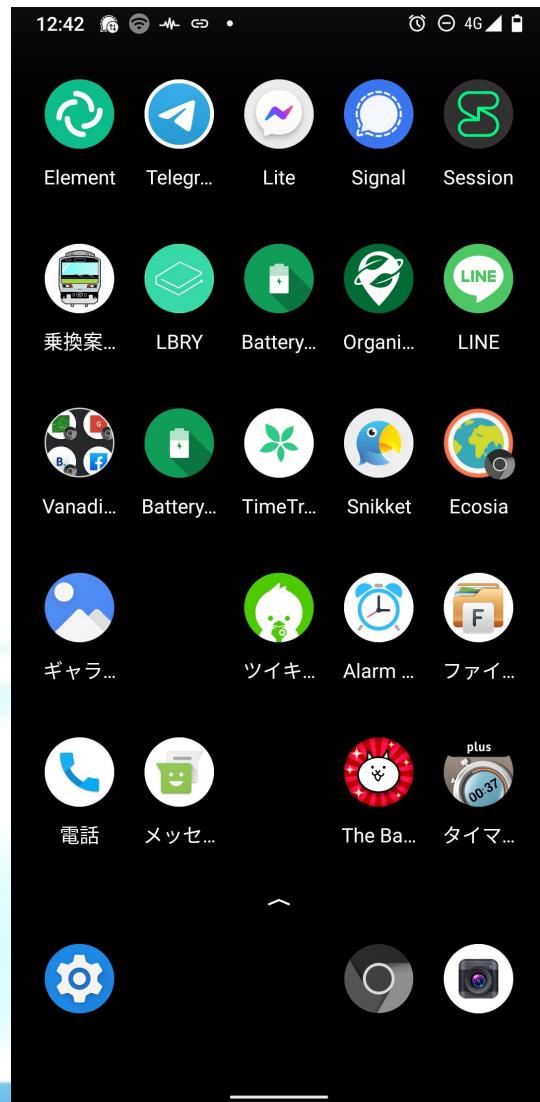
- 英政府は、ファクトチェック慈善団体が中立の立場で行っているとする
 - 資金提供者の一人はジョージ・ソロスのオープンソサエティ財団

私の取り組み

- ・巨大ITの検閲・監視を逃れるため、主にオープンソースソフトウェアを使うシステムの構築と紹介
- ・tech.jimakudaio.com

The screenshot shows a web browser window with the URL https://tech.jimakudaio.com in the address bar. The page title is "字幕大王Tech". The left sidebar has a blue header with "参照" (Reference) and a list of categories: ホーム, スマートフォン, パソコン, 各種システム・アプリ, 専門家向け, その他資料. The main content area has a dark background with white text. It features a heading "巨大IT会社による監視・検閲がますます厳しくなっており、既に我々の自由に対する脅威(脅威)" followed by three links: "監視・検閲に対抗するために", "オープンソースは安全である", and "スマートフォンについて". Below these are sections for "スマートフォンについて" (with a link to "スマートフォンについて") and "パソコンについて" (with a link to "パソコンについて"). The final section is "各種システム・アプリ" (with a link to "各種システム・アプリ").

Androidに別OSを入れる



以上です

